

空手道部

県高等学校空手道新人大会が、11月10日（金）12日（日）に県立武道館で行われました。

初日は、男子個人形が最初に Rowe 1 年東畑憲典（伊丹市立北中）が3位、同じく近藤啓太（高砂市立荒井中）がベスト8に入賞し、2名は近畿大会に出場することになりました。

続く男子団体形でも快進撃を見せ、準決勝で神戸第一を4対1で破り、決勝では兵庫工業を5対2（決勝戦は審判員の数が5人から7人に変更）で破って、見事優勝し、近畿大会への出場が決まりました。

この優勝は、19年ぶりとなる快挙でした。

【登録選手】2年河野秀人（加古川市立平岡中）、松木穰（明石市立魚住中）、山路雅也（西宮市立平木中）、1年東畑憲典、近藤啓太、平井孝法（神戸市

立玉津中）

2日目には、男子個人組手が行われ、2年尾花和哉（神戸市立魚崎中）が重量級で決勝に進出しましたが、決勝戦ではリードをしながら逆転負けを喫して準優勝となりました。

近畿大会での活躍を期待したいものです。



最終日は、男子団体組手が行われ、1回戦須磨学園に5対0で勝利し、2回戦は強豪の兵庫工業との対戦となりました。

先鋒戦では先制し、いい流れに乗るか期待しましたが、逆転負けとなり、次鋒戦からは追いかける展開で、そのまま押し切られてしまいました。

ベスト8ですが、近畿大会出場権を獲得しました。団体、個人ともに、この

近畿大会で上位入賞すれば、全国大会出場権を得ることができそうです。

【登録選手】2年佐藤夕雅（尼崎市立大庄中）、辰巳虎寛（川西市立清和台中）、尾花和哉、徳田育巳（神戸市立雲雀丘中）、松井陽太（同渚中）、西原健人（同玉津中）、小西翔太（尼崎市立日新中）、1年東畑憲典

柔道部

県高等学校新人柔道大会が、高砂市総合体育館において、11月17日（金）19日（日）に開催されました。男子団体戦は2回戦が初戦となりました。甲陽学院と対戦し、先鋒の2年大原涼馬（明石市立望海中）が5人抜きの大活躍をしました。

3回戦は神戸村野工業に4人残りで勝利しました。

2日目、4回戦は報徳学園に1人残りで勝利しました。

準決勝は育英と対戦、残念ながら2人残りで敗れてしまいました。

【登録選手】2年頭徳大晴（明石市立望海中）、大原涼馬、小西貴大（同野々池中）、加納怜治（姫路市立灘中）、高橋寛多（小野市立小野中）、柴原海斗（たつの市立龍野西中）、山下勝生（寝屋川市立第九中）

最終日の男子個人戦は、60kg級で頭徳大晴が優勝。73kg級で高橋寛多が2位、90kg級で柴原海斗が3位、100kg級で加納怜治と小西貴大が3位に入賞しました。

個人戦で入賞した選手は、12月17日（日）に全国大会出場権をかけた試合に出場します。



ちょっと一言 日米中韓4か国の「高校生の勉強と生活に関する意識調査」の結果が3月に発表された。その結果、「試験前にまとめて勉強する」は69.3%で日本が最も多かった。一方、「できるだけ自分で考えようとする」が33.3%、「勉強したものを実際に応用してみる」が10.2%で、ともに最も少なかった。平日に学校の授業と宿題以外は勉強しない日本の高校生は、8年前の調査から10%減少して24.2%になったが、4か国中で最多だった。授業中に「居眠りをする」は15%で最多、「積極的に発言する」が3.7%で最少。「きちんとノートをとる」では、79.4%と最多だった。君は授業にどう取り組んでいますか？